



物流ニッポン

2008年(平成20年)

6 | 12 (木)

発行/月曜日・木曜日 第3140号

購読料/半年32,130円(月額5,355円、税込)

©物流ニッポン新聞社 2008 (昭和44年4月1日第三種郵便物認可)

国内外で倉庫拡充

ニチレイ 成長基盤強化を図る

【大沢瑛美子】ニチレイの拡充に取り組み。二〇〇八イロジグループ本社(村)〇七〇九年度の設備投資年三月期決算説明会で、井利彰社長、東京都中央資総額は三百十億円規模、樺橋治男副社長が明らか区は国内外の倉庫施設で、今期も百億円強を見

【大沢瑛美子】ニチレイの拡充に取り組み。二〇〇八イロジグループ本社(村)〇七〇九年度の設備投資年三月期決算説明会で、井利彰社長、東京都中央資総額は三百十億円規模、樺橋治男副社長が明らか区は国内外の倉庫施設で、今期も百億円強を見

安定している現状において老朽化設備のスクラップ・アンド・ビルドを行い、成長基盤の強化を図ると強調した。

今期は一月に「ニチレイイ・ロジステイクス九州都城物流センター」を増設。今月には「キョクレイ山下物流センター」の一期工事が終了し、一〇年四月までに二期工事分を完了させる。また、来月には「ニチレイ・ロジステイクス中国松江物流センター」を稼働する。

さらに、〇九年度下期には大阪北港地区で保管能力二万ト規模の冷蔵倉庫を開設。一〇年度上期にも川崎市の東扇島地区で四万ト規模の冷蔵倉庫を竣工するとともに、九州地区でも二万ト規模の冷蔵倉庫を新設したいと考えて。

海外では、十月にポーランド・ラドムスコで同国二拠点目となる新センターをオープン。保管能力は四万九千五百トで、

一三年度は売上高十二億五百万円を目指す。大手アイスクリームメーカーの荷物を扱い、小売業向けの店舗配送受託も視野に入れる。また、オランダ・ロッテルダム港湾でも、果汁専門冷蔵倉庫の増設に着手する。

中国・上海郊外では、二拠点目となる物流センターを計画。上海市の既存センターが既に満杯状態にあり、新拠点はサードパーティー・ロジ

「老朽化設備のスクラップ・アンド・ビルドを行う」と樺橋副社長



ステイクス(3PL)やフォワーディング業務、流通加工、小口配送などを行える多機能センターを検討している。

一方、物流ネットワーク事業では輸配送車両の高度活用によるローコスト化を推進。「攻め」の姿勢による輸配送事業のさらなる拡大を目指す

とともに、メーカー物流共同化推進の加速。生協・青果物流といった新規顧客にも挑戦する。